

平成30年度高山市決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率

健全化判断比率

(単位：%)

比率の名称	平成30年度	平成29年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	11.93	20.00
連結実質赤字比率	—	—	16.93	30.00
実質公債費比率	8.8 単年度(6.2)	9.9 単年度(10.9)	25.0	35.0
将来負担比率	—	—	350.0	

※ 実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、赤字額がないため、「—」表示となっています。

※ 地方債残高等の将来負担額より充当可能財源が多い場合は、将来負担比率が算出されないため、「—」表示となっています。

資金不足比率

(単位：%)

特別会計の名称	平成30年度	平成29年度	経営健全化基準
下水道事業特別会計	—	—	20.0
地方卸売市場事業特別会計	—	—	20.0
農業集落排水事業特別会計	—	—	20.0
観光施設事業特別会計	—	—	20.0

※ 全ての特別会計において資金不足額がないため、「—」表示となっています。